

今日から・・・

今日から2月、明々後日の4日に立春を迎えます。2月と言えば“如月”。ということで、さっそく語源を調べて見ました。

如月(きさらぎ)の由来は、まだまだ寒さが厳しい時期ために、更に衣を重ね着するという意味から「衣更着(きさらぎ)」になったという説が最も有力とされています。では、なぜ「如月」の漢字が使われているかということ、中国の2月の異名「如月(にょげつ)」が由来になっているようです。如月(にょげつ)には、寒い冬が終わり、春に向かって万物が動き始める時期という意味があります。つまり、同じ漢字を使っているものの、「きさらぎ」と「にょげつ」で表している意味は違っているということになります。



2月の異名には「梅見月(うめみづき)」、「雪消月(ゆききえつき)」、「木芽月(このめつき)」など、厳しい寒さの中にある小さな春を思い起こさせる言葉も多くあります。また、「令月(れいげつ)」という異名もありますが、この言葉には、“何をするにもいい月、素晴らしい月”という意味があり、新元号「令和」の由来ともなりました。確かに2月23日が天皇誕生日ですから、うなずけるところです。いよいよ2月、“何をするにもいい月、素晴らしい月”です。今年度も2ヶ月となりました。1日1日を大切に、今年度の締めくくりと新年度の準備を行ってほしいと思います。

前期天王山



いよいよ公立高校の受検が始まります。一昨年までは、2月初旬に公立推薦が実施されていましたが、昨年度から前期選抜(A特色選抜、B文化・スポーツ選抜)という形に変更されました。ちなみにA特色選抜は、基礎学力検査(国・数・英の3教科合わせて60分の検査)及びプレゼンテーション等、B文化・スポーツ選抜は面接等が実施されます。(※学校によって、内容が異なります)今年は明日2月2日(※学校によっては、2日、3日の2日間)に実施されます。本校からも数名の生徒が前期選抜を志願しており、最初の天王山を迎えます。今まで備えてきた力を存分に発揮してほしいと思います。

ちなみに、従来行われていた一般入試は、後期選抜と名称は変わりましたが、日程や内容は変わっておらず、5教科の学力検査及び面接等が行われます。今年3月8日・9日に実施されます。ただ、一つ違うのは、前期日程で合格者が多くであるため、合格枠が少し少なくなるということです。さあ、いよいよ公立入試の始まりです。皆で15の春を迎えられるよう、精一杯頑張りたいと思います。